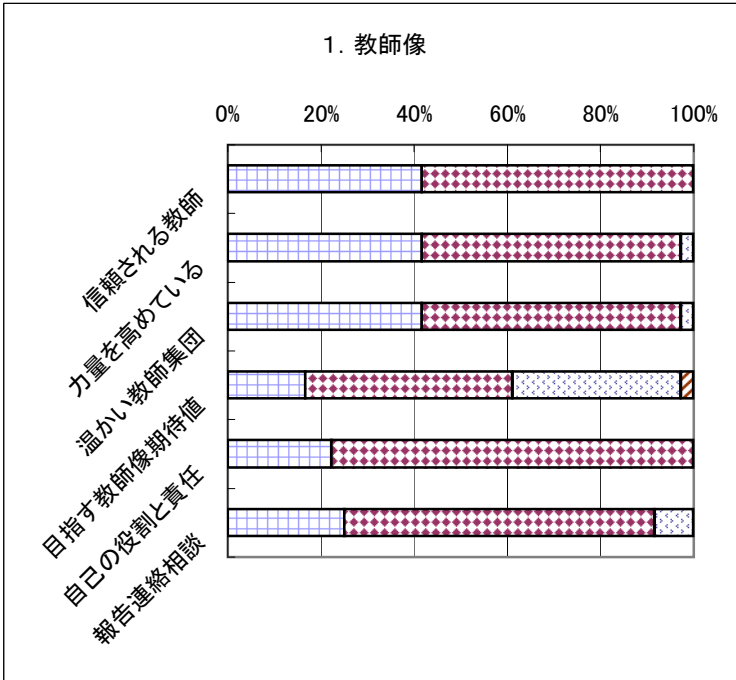
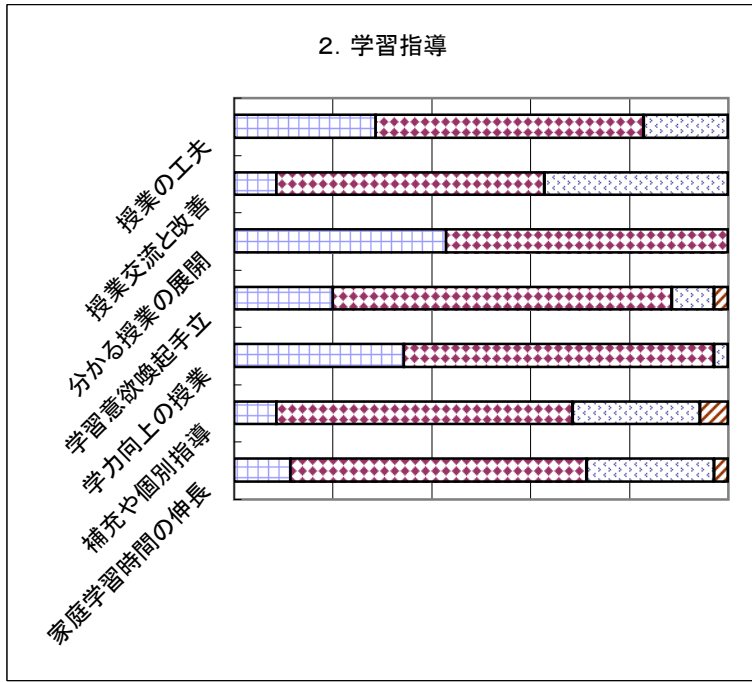


平成21年度 学校評価 教職員自己評価結果グラフ(7月)

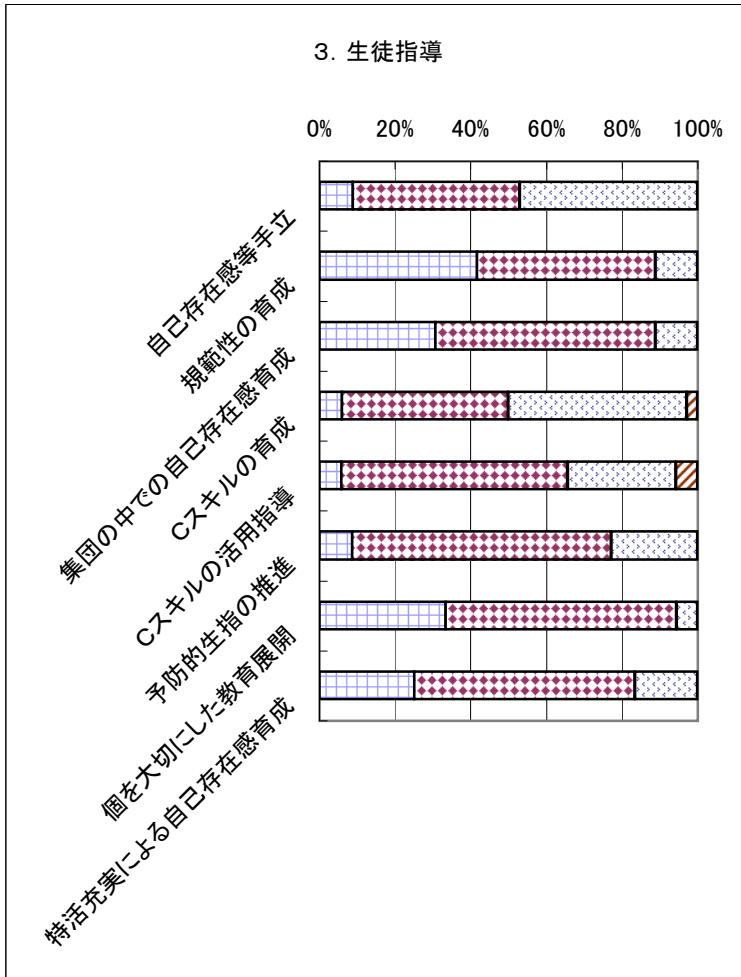


【分析・考察】
 目指す教師像の3項目の肯定的自己評価はすべて95ポイントを超えた。また、その中で特に成果のみられた項目は「互いに協力できる温かい教師集団」であり、その内訳をみると「大変そう思う」という肯定的自己評価が42ポイントとなり、前年度比で11ポイント、一昨年度比で40%ポイントも伸びている。その背景には、教職員間の相互の努力とともに校務推進等への協力意識の高まりが感じられる。これは今後も継続して実践し、人材育成等も視野に入れながら取り組んでいきたい。



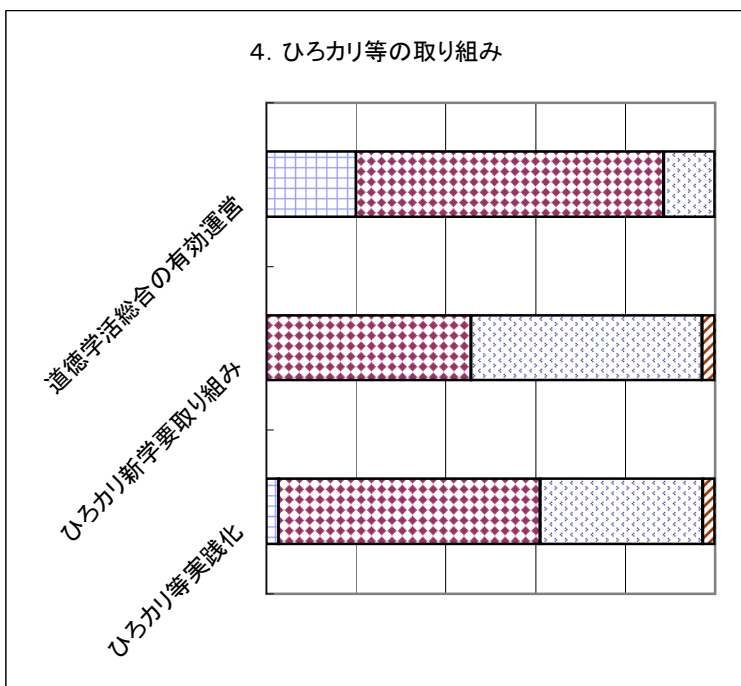
【分析・考察】
 「分かる授業の展開」「学力向上の授業」「学習意欲喚起手立て」「授業の工夫」については80ポイント以上の肯定的自己評価が得られているものの平素の授業交流と改善については「あまりそう思わない」という否定的自己評価が37ポイントとなっている。これは授業研究実践を今後にひかえていることも考えられるが、授業改善を意識化した取り組みがまだ全体に浸透しきれていないという課題ととらえられる。夏季休業の後半に協同学習と授業改善の講師招聘研修、及びICT活用授業に関する校内研修を計画しており、授業改善を目指す取り組みの一助としたい。

平成21年度 学校評価 教職員自己評価結果グラフ(7月)



【分析・考察】

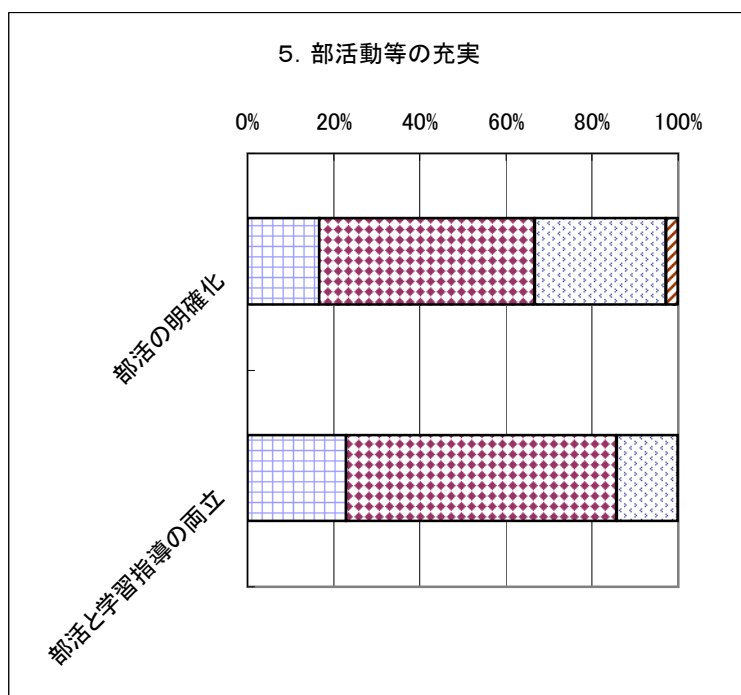
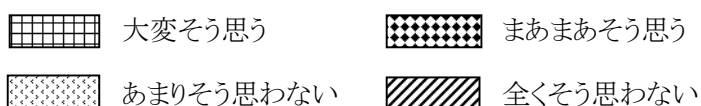
「個を大切にした教育展開」「集団の中での自己存在感育成」「規範性の育成」「特活充実による自己存在感育成」について肯定的自己評価が80ポイントを超えているが、生徒の自己存在感を高めていく手立ての工夫については否定的自己評価が47ポイントと、教師自身も具体的な手立てについて大きな課題を感じている。また、生徒のコミュニケーションスキルの育成にも課題がみられるが、授業改善(生徒相互のかかわりを意図的に仕組む)や学級指導などとの兼ね合いも大きいので今後の予防的・積極的生徒指導の在り方を継続して取り組み研究していきたい。



【分析・考察】

新学習指導要領の理念とリンクした言語・数理運用科、いわゆる「ひろしま型カリキュラム」の取り組みが大きく進んでいない。授業実践研究を今後にひかえている点も考えられるが、内容等の全体浸透が十分でないという課題もみられる。他校の推進等も参考にした全体研修を行っていく予定である。授業実践研究は9月以降に計画している。

平成21年度 学校評価 教職員自己評価結果グラフ(7月)



【分析・考察】

部活動指導の充実については学習指導との両立も目指しながら、成果を上げている。夏季休業中における大会やコンクール等で大きな成果をみることができる。

各部活動における成果等 (8月20日現在)

○バスケットボール女子	中国中学校選手権大会第3位	広島市総体第4位(県総合体育大会出場)
○バスケットボール男子	広島市総体西区大会第1位	
○女子ソフトテニス	県選手権大会出場(個人)	県総合体育大会出場(個人戦)
○男子ソフトテニス	広島市選手権大会ベスト16(団体)	広島市総体西区大会第1位(個人戦)
○バドミントン	広島市総体西区大会 団体第3位	ダブルス第3位 シングルス第3位
○剣道女子個人	県総合体育大会出場(個人戦)	
○バレーボール女子	広島市総体西区大会第2位	
○陸上競技男子	広島市選手権大会 1年男子1500m第1位	
○サッカー	広島市選手権大会ベスト16	広島市総体西区大会第4位
○吹奏楽	県吹奏楽コンクール金賞受賞	
○放送	NHK杯全国中学校放送コンテスト朗読部門	決勝進出
◇体操競技	全国中学校選手権大会出場	
◇水泳	県総合体育大会出場	